

多摩市産の新米 店頭で販売開始

日本農業新聞掲載日：令和7年12月3日（水）

J A東京みなみ多摩支店は11月中旬、地場産新米の店頭精米の販売を始めた。出荷したのは多摩市の農家、太田茂さん（73）。太田さんは11月中旬に米穀検査を受け、2400キロが出荷可能となった。

今年は高温多湿によりカビ類の病気が発生して苗の本数が少なくなったり、夏の高温障害で収量が減ったりと苦労をした。太田さんは「多摩市産のお米を多くの人に食べてもらえたうれしい」と笑顔で話した。

同支店では玄米を1キロ単位で販売し、2キロ以上でお好みのつき方に無料で精米できる。少量ずつ購入でき、精米したてのお米が食べられると来店客から人気を集めている。〉



米の検査をする J A全農東京の職員（東京都八王子市で）